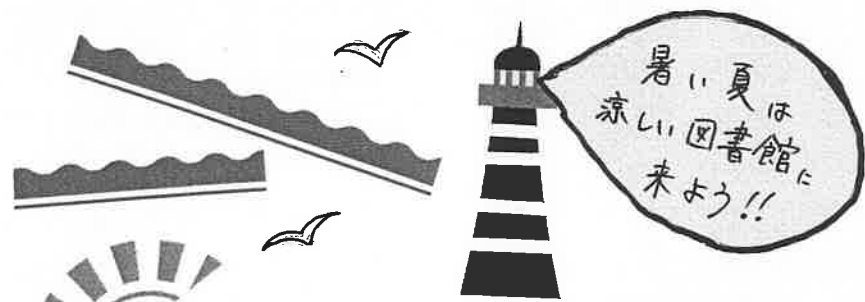




伊那弥生ヶ丘高校図書委員会 3年C組

火狩りの王 日向理恵子 著

紙すきの村で生まれ育った灯子は村を守る結界から出て森へ入り、炎魔と言う獣に襲われる。危機一髪で火狩りに助けもらうが、その火狩りは死んでしまう。その火狩りの持っていたものと狩り犬のかなたを家族のもとへ届けに首都へと出発する。その道中で多くの出会いと別れを経験する。果たして灯子は無事に首都へ行き、かなたを家族のもとへ届けることができるのか？



これは経費で落ちません 青木祐子 著

天天コーポレーション 通称天コレという会社の経理部で働く27歳の森若沙名子。

彼女は27歳という若さで経理部の活動のためには欠かせない重要な人物である。

彼女の好きな言葉は「イーブン」、座右の銘は「ウサギを追うな」。そんな彼女に恋が訪れて...

イーブン、何事も計画的にこなしていきたい彼女の恋の行方とは？



鬼人幻燈抄

著者 中西 モトオ

江戸時代、まだ怪異が現代より身近な存在で鬼が横行していた頃。江戸より百三里ほど離れた山間の集落「葛野」には「いつきめ」と呼ばれる巫女がいた。その護衛役である巫女守の主人公 甚太は巫女の為に刀を振るうが何一つ守れず全て失う。巫女を殺したのは大切な妹。彼女は百七十年後に鬼神となり再び姿を現す。

憎しみから鬼となった甚太は何を斬るべきかと分からぬまま未来を指す。その道中で多くの出会いや別れを経験する。江戸から始まり平成へと続く壮大な和風ファンタジー！

万葉集をつくった男 著者 篠崎紘一

奈良時代の終わり「万葉集」に人生をかけた大伴家持の生涯を描く。家持は父から仕事を引き継ぎ、その仕事とは国民の歌を集め後世に残そうというものであった。その中で人々との政争や古代の生活の一部である霊的なものなどに巻き込まれながらも言霊が宿る「万葉集」を完成させていく物語。謎に包まれた大歌人の生涯を描く歴史ロマン小説！

